

『JVA 2013 年年間統計調査結果』について

当協会は、3月14日(金)午後1時30分から、協会会議室において『JVA 2013 年年間統計調査結果』についての記者発表会を開催しました。

以下に記者発表された報告の中から抜粋して2013年の統計調査結果についてご報告いたします。

なお、本調査の結果は『日本映像ソフト協会統計調査報告書 Vol.77』として冊子にまとめられ、一般の方にも有料にて頒布しております。

本件のお問い合わせにつきましては、広報課上田(03-3542-4433)まで、または、協会ホームページの「お問い合わせ」にアクセスしてください。

以 上

2013年(1月～12月)の実績について

1. 2013年のビデオソフトの総売上は2517億7000万円で前年比97.4%となった。

ビデオソフトの総売上金額をメディア別に見てみると、DVDビデオが1629億8800万円で前年比87.2%と前年を割り込む一方で、ブルーレイが887億8200万円で前年比124.1%と伸長したが、DVDビデオの落ち込みをカバーするまでには至らなかった。DVDビデオとブルーレイの売上金額における構成比は64.7:35.3となり、前年の72.3:27.7と比較してみてもブルーレイの存在感が増大してきている。

2. ビデオソフト全体の売上金額を流通チャネル別に見てみると、「販売用」「レンタル店用」「業務用」のそれぞれの割合は、72.9:26.6:0.4となり、年々「販売用」の比率が増してきている(前年の比率は70.7:28.8:0.5)。

3. ビデオソフト全体(DVDビデオとブルーレイの合計)の「販売用」の売上金額は1836億3100万円で前年比100.5%となり、前年をわずかに上回った。「販売用」の上半期の前年同期比は103.6%だったのに対し下半期が97.8%と割り込んだ。特に下半期のDVD

ビデオの「販売用」が前年同期比 81.7%と落ち込み、これが年間通しての「販売用」の伸長にブレーキを掛けた形となった。

「販売用」の全体金額における DVD ビデオとブルーレイの割合は 54.1 : 45.9 となり、ブルーレイの割合が半分近くまでに増大してきている。

4. ビデオソフト全体の「販売用」の売上金額をジャンル別に見てみると、『日本のアニメーション（一般向け）』が 33.3%を占めて構成比 1 位、前年比 114.8%と好調だった。構成比 2 位は『音楽（邦楽）』で 26.6%を占めたが前年比 96.9%と前年には及ばなかった。また構成比 11.1%を占めて 3 位となった『洋画』も前年比 90.1%にとどまった。4 位(構成比 6.1%)の『邦画』は同 128.1%と伸長した。

ジャンルごとの売上金額に占めるブルーレイの割合を見てみると、『日本のアニメーション（一般向け）』は前年の 68.1%から 73.9%と上昇し、DVD ビデオからブルーレイへの移行が一層進んでいる様子が見える。また『音楽（邦楽）』も 16.7%から 29.5%へ増大、『邦画』も 32.4%から 38.1%に上昇してきている。一方で『洋画』は 52.5%から 52.8%と変化は少ないが、過半をブルーレイが占めている。

5. ブルーレイ全体の売上金額における「販売用」「レンタル店用」「業務用」の割合は、94.9 : 5.0 : 0.1 で、相変わらず「販売用」の売上が圧倒的に高くなっている。それぞれの前年比は「販売用」が 124.7%、「レンタル店用」が 111.6%、「業務用」が 324.2%といずれも大きな伸長が続いている。

6. DVD ビデオの売上金額における「販売用」「レンタル店用」「業務用」の割合は、61.0 : 38.5 : 0.6 で、前年と比較して大きな構成比の変化はなかった。それぞれの流通チャネル別売上金額の前年比は 86.3%、88.8%、78.3%で、いずれも前年を 1 割以上割り込んだ。

7. ビデオソフト全体(DVD ビデオとブルーレイの合計)の「レンタル店用」の売上金額は 670 億 8900 万円で前年比 90.0%だった。

このうち DVD ビデオの「レンタル店用」の売上金額は 626 億 7800 万円で前年比 88.8%となり、ビデオソフト全体の「レンタル店用」の 93.4%を占めた。

以 上